

第22回建設用ロボットに関する技術講習会の開催

テーマ 都市の再構築における自動化・情報化技術の役割と展望

開催日 平成17年3月 4日 (金)

行事コード：E430 略称：22回建設用ロボット講習会

(社)土木学会建設用ロボット委員会(委員長：大林成行)では、わが国の建設分野における自動化・ロボット化を推進する活動の一助として、建設用ロボットに関する技術講習会を企画、開催しております。

さて、我が国の都市は、少子・高齢化、グローバル化、環境問題の地球レベルでの深刻化、高度情報化の急速な進展など歴史的な転換期を迎えようとしており、大都市圏をはじめとした多くの都市で「都市再生」をテーマに様々な取組みが進められています。

このような状況の中、今回は「都市の再構築における自動化・情報化技術の役割と展望」をテーマに、それぞれの分野でご活躍の方々を講師に迎え、都市機能の再編成を含めた“都市の再構築”に対するお考えや、それを支える基盤技術の動向などをご紹介します。

つきましては、多くの皆様方のご参加を頂きたく、ここにご案内いたします。

記

- 主催：(社)土木学会(建設用ロボット委員会)
- 日時：平成17年3月4日(金) 9:30~17:00 <9:00 受付開始>
- 場所：(社)土木学会 土木会館 2F 講堂 (東京都新宿区四谷1丁目無番地/JR四ツ谷駅下車徒歩3分)
- プログラム

9:30~ 9:35	開会の挨拶	建設用ロボット委員会委員長 大林 成行
9:40~11:00	基調講演 】100年後の日本文明に備えて	(財)リバーフロント整備センター 理事長 竹村 公太郎
11:00~11:50	準天頂衛星による都市機能の情報化 自動化	新衛星ビジネス(株)サービス事業本部 副事業本部長 名取 直幸
11:50~13:00	昼休み	
13:00~14:00	特別講演 】首都圏空港の現状と課題	国土交通省 航空局 飛行場部 計画課 大都市圏空港計画室長 八鍬 隆
14:00~14:50	高度道路交通システム ITS における情報化 自動化システム	(財)日本自動車研究所 主席研究員 高橋 寿平
14:50~15:10	休憩	
15:10~16:00	地下鉄13号線建設における情報化 自動化技術の取組み	東京地下鉄(株) 建設部渋谷工事事務所 所長 西村 高明
16:00~16:50	渋滞解消をめざす立体交差構築の自動化システム	香川大学 工学部 安全システム建設工学科 教授 神崎 正
16:50~17:00	閉会の挨拶	建設用ロボット委員会 運営小委員長 酒向 信一

司会者 (午前 圧井達郎 鹿島建設株) (午後) 関 伸司 清水建設株

- 定員：150名
- テキスト：第22回建設用ロボットに関する技術講習会テキスト
- 参加費：会員・7,500円、非会員・8,500円
- 申込方法：学会誌綴込みもしくは土木学会ホームページ内

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/>)の「本部行事参加申込書」に参加者お一人につき1枚にて必要事項をご記入の上(特に行事コード番号)下記「参加申込先」までお申込みください。申込書到着後10日以後にて折り返し「参加券」をお送りいたします。

申込みに関してのお願い

申込み締切日前に定員に達している場合がございますのでご了承ください。なお、締切日以降の事前受付はいたしません。ただし、定員に余裕がある場合は、行事当日に会場にて受付いたします。

お申込み後、キャンセルをされる場合、開催日の1週間前までに下記「問合せ先」にご連絡ください。

ご連絡がない場合参加費を徴収させていただきますのでご了承ください。

お申込みをされる前にご送金いただくことはトラブルの原因となりますのでおやめください。

テキストのみご希望の場合は、行事終了後に出版事業課までお問い合わせください。

- 問合せ先：事務局研究事業課 今村 玲子 TEL.03-3355-3559